

# (Ⅱ) — 3 道 路

( 道路建設課 )

# 1. トンネル単価

( 道路建設課 )

# トンネル単価目次

## 目次

1. トンネル工割増労務賃金

## (1) トンネル工割増労務賃金

### 【労務賃金の設定】

1) 坑内1方当り(8時間労働)割増労働賃金算定例表を次に示す

割増労働賃金算定表

		昼間単価①	夜間単価②
基準額		P(8時間当り)	P(8時間当り)
割増	深夜労働	0	$P\alpha/8 * 25/100 * 4 = 0.125P\alpha$
合計		P(8時間当り)	$P + 0.125P\alpha$
$\text{①と②の平均} = P + 0.063P\alpha$ 単価 = $P * (1 + 0.063\alpha) \dots\dots$ 掘削関係など			

### 労務単価

(単位：円/人)

項目 名称	構成比 $\alpha$ (%)	基本賃金 P (円)	昼間単価と 夜間単価の平均 $P \times (1 + 0.063\alpha)$
特殊作業員	83.2%	16,200	17,040
普通作業員	90.8%	13,800	14,580
トンネル特殊工	96.2%	24,100	25,560
トンネル世話役	94.2%	27,000	28,600
トンネル作業員	94.6%	19,400	20,550
電 工	73.7%	15,700	16,420
溶 接 工	88.3%	19,100	20,160
機 械 工	88.3%	19,100	20,160
運転手(特殊)	83.6%	18,400	19,360
設備機械工	75.2%	17,400	18,220

## 2. 橋 梁 単 価

( 道路建設課 )

# 橋 梁 単 価

## 目 次

1. 定着装置
2. 排水装置
3. 摩擦接合用高力ボルト (S10T)
4. 変位制限装置
5. 橋梁用防護柵
6. 炭素繊維シート接着工
7. 踏掛板工
8. 付属資材
9. ゴム支承
10. 橋梁補修

1. 定着装置

品名	規格		単位	単価	備考	
シングルストラット工法	後付用斜角用割増 70° 超90° 未満	1T17.8	40T型	組	5,390	
		1T19.3	50T型	組	5,990	
		1T21.8	60T型	組	7,960	
	後付用斜角用割増 70° 以下	1T17.8	40T型	組	6,610	
		1T19.3	50T型	組	7,210	
		1T21.8	60T型	組	9,690	
	埋込用斜角用割増 70° 超90° 未満	1T17.8	40T型	組	7,490	
		1T19.3	50T型	組	8,090	
		1T21.8	60T型	組	10,000	
	埋込斜角用割増 70° 以下	1T17.8	40T型	組	8,990	
		1T19.3	50T型	組	9,510	
		1T21.8	60T型	組	13,400	

2. 排水装置

品名	規格		単位	単価	備考
枺	F C 15~25	現場塗装含む	kg	-	グレーチング含
継手	VP50		個	***	
		90° ベンド	個	***	
		45° ベンド	個	***	
	VP150		個	***	
		90° ベンド	個	***	
		45° ベンド	個	***	
	VP200		個	***	
		90° ベンド	個	***	
		45° ベンド	個	***	
伸縮継ぎ手管	VP150		個	47,200	
	VP200		個	63,600	
排水キャップ	VP40用		個	***	
支持金物	VP50		個	5,500	
	VP150		個	6,600	
	VP200		個	7,100	

3. 摩擦接合用高力ボルト (S10T)

品名	規格		単位	耐候性	防錆処理	備考	
	径	長		単価	単価		
摩擦接合高力トルシアボルト (S10T)	M16	35mm		個	***	80.5	
		40		個	***	84.0	
		45		個	***	87.0	
		50		個	***	91.0	
		55		個	***	94.0	
		60		個	***	98.0	
		65		個	***	101.0	
		70		個	***	104.0	
		75		個	***	108.5	
		80		個	***	111.5	
	85		個	***	115.5		
	M20	40		個	***	119.5	
		45		個	***	122.5	
		50		個	***	128.0	
		55		個	***	133.0	
		60		個	***	138.0	
		65		個	***	142.0	
		70		個	***	147.5	
		75		個	***	152.5	
		80		個	***	157.5	
		85		個	***	161.5	
		90		個	***	166.5	
		95		個	***	172.0	
	100		個	***	177.0		
	M22	50		個	***	168.0	
		55		個	***	173.0	
		60		個	***	179.0	
		65		個	***	184.0	
		70		個	***	189.5	
		75		個	***	195.5	
		80		個	***	200.5	
		85		個	***	205.5	
		90		個	***	212.0	
		95		個	***	217.0	
		100		個	***	222.0	
		105		個	***	228.0	
		110		個	***	233.5	
		115		個	***	238.5	
	M24	60		個	***	237.5	
		65		個	***	243.5	
		70		個	***	250.5	
		75		個	***	257.0	
80			個	***	264.0		
85			個	***	270.0		
90			個	***	276.5		
95			個	***	283.5		
100			個	***	289.5		
105			個	***	297.0		
110			個	***	303.0		
115			個	***	310.0		
120			個	***	316.5		
125			個	***	322.5		
130		個	***	329.5			
135		個	***	336.0			
140		個	***	343.0			
145		個	***	349.0			
150		個	***	356.5			



4. 変位制限装置

品名	規格		単位	単価	備考
アンカーバー	SS400	φ 25~38	kg	300	亜鉛メッキ品
		φ 40~95	kg	320	
		φ 100~	kg	390	
	S35C	φ 25~38	kg	320	
		φ 40~95	kg	340	
		φ 100~	kg	400	
	S35CN	φ 25~38	kg	400	
		φ 40~95	kg	440	
		φ 100~	kg	480	
アンカーキャップ	固定側	25A	m	1,440	亜鉛メッキ品
		32A	m	1,860	
		40A	m	2,400	
		50A	m	3,250	
		65A	m	4,450	
		80A	m	5,540	
		90A	m	6,380	
		100A	m	7,460	
		125A	m	9,390	
		150A	m	13,200	
		175A	m	15,600	
		200A	m	19,500	
		250A	m	27,700	
		300A	m	35,800	
		可動側	25A	m	
	32A		m	2,400	
	40A		m	2,770	
	50A		m	3,790	
	65A		m	6,020	
	80A		m	7,200	
	90A		m	8,270	
	100A		m	9,630	
	125A		m	11,920	
	150A		m	18,400	
	175A		m	23,000	
	200A		m	31,700	
	250A	m	44,900		
300A	m	56,100			
スパイラル筋 (円加工)	D10		SD295A	kg	480
	D13	φ 13	SS400、SD295A	kg	500
	D16	φ 16	SS400、SD295A	kg	550
スパイラル筋 (楕円加工)	D10		SD295A	kg	900
	D13	φ 13	SS400、SD295A	kg	940
	D16	φ 16	SS400、SD295A	kg	1,000
充填材	アイガスE/LM		kg	***	
緩衝材	クロロプレンゴム		m <sup>2</sup>	21,200	

5. 橋梁用車両防護柵  
高欄 (H=1000mm)

材質	形状	ビーム 本数	スパン (m)	単位	単価	単価	備考
					めっき	塗装	
鋼製	丸横棧	4	2.0	m	***	***	アンカーボルト式
			2.5	m	31,300	41,100	
	縦棧	3	2.0	m	***	***	
			2.5	m	37,800	48,300	
ダクタイル鋳鉄製	丸横棧	4	2.0	m	***	***	
			2.5	m	30,100	40,000	
	縦棧	3	2.0	m	***	***	
			2.5	m	38,400	52,700	
アルミ製	丸縦棧	3	2.0	m	45,900	45,900	埋め込み式、 シルバーアルマイト仕様
			2.5	m	42,900	42,900	

- ・ 橋梁用車両防護柵の適用に当たっては各種基準書の最新版を参照のこと。
- ・ 上記種別はC(SP)種であり、車両用防護柵と高欄の兼用タイプである。
- ・ 標準スパン以外、また、縦断勾配加工、曲げ加工等の特殊仕様は別途価格。
- ・ 縦棧型については格子上下端部の横梁をビーム本数に含めている。
- ・ 橋面からの高さは車道用1.0m、歩道用1.1mとする（地覆高を含めた橋面からの高さ）。
- ・ 歩道に設置する防護柵は「防護柵設置基準」等に基づき選定すること。
- ・ アルミ製高欄の使用にあたっては、腐食等の影響を十分考慮すること。
- ・ 路面の凍結が生じやすくスリップ事故の発生が予測される橋梁については道路課と協議を行うこと。

6. 炭素繊維シート接着工

品名	規 格				単位	単価	備考
	強度	引張弾性率 N/mm <sup>2</sup>	引張強度 N/mm <sup>2</sup> (N/mm幅)	目付量			
炭素繊維シート	高強度	2.45×10 <sup>5</sup>	3,400(380)	200	m <sup>2</sup>	4,640	
			3,400(570)	300	m <sup>2</sup>	6,880	
			2,900	200	m <sup>2</sup>	4,800	
	中弾性	3.9×10 <sup>5</sup>	2,900(480)	300	m <sup>2</sup>	9,600	
			4.4×10 <sup>5</sup>	2,400(390)	300	m <sup>2</sup>	
	高弾性	5.4×10 <sup>5</sup>	1,900(270)	300	m <sup>2</sup>	12,800	
6.4×10 <sup>5</sup>			1,900(270)	300	m <sup>2</sup>	13,120	
ディスクサントペーパー	下地処理工	φ150#16			枚	***	
エポキシ樹脂プライマー	プライマー工	無溶剤系		※1	kg	2,560	
		溶剤系		※2	kg	2,560	
パテ	不陸修正工	エポキシ樹脂			kg	1,600	
含浸接着樹脂	炭素繊維シート接着工	エポキシ樹脂			kg	2,560	
塗料	仕上塗装工	ポリウレタン系		※3	kg	2,000	
		フッ素系		※4	kg	3,200	

※1： 無溶剤系は、施工箇所が密閉された空間や住居が近接するなど周辺環境に配慮する場合に採用する

※2： 一般的に使用するもの

※3： 一般的に使用するもの

※4： 現場周辺に工場があるなど、現場環境が劣悪で炭素繊維シートに悪影響を与える可能性がある場合に採用する

## 7. 踏掛版工

品名	規格			単位	単価	備考
アンカー筋	D22*600	溶融亜鉛メッキ	付着量1.82k g/本	m	1,160	L=5.5m
ガス管	50A	溶融亜鉛メッキ	SGP	本	4,300	
スパイラル筋	D10			m	500	

## 8. 付属資材

品名	規格			単位	単価	備考
橋名板	ブロンズ製	150mm×390×15		枚	34,600	
		150mm×510×15		枚	42,000	
		150mm×630×15		枚	51,300	
橋曆版	ブロンズ製	200mm×300×13		枚	36,000	
原板ブラスト	耐候性鋼材用			m <sup>2</sup>	82	
杉割材	6cm×6cm	床板工		m <sup>3</sup>	***	

## 9. ゴム支承

品名	規格			単位	単価	備考
コンクリートヒンジ用緩衝ゴム	SBR	単層 10mm		m <sup>2</sup>	***	

## 10. 橋梁補修

品名	規格			単位	単価	備考
ひび割れ注入材	エポキシ樹脂注入材	1種材		kg	3,800	
		2種材		kg	4,400	
		3種材		kg	4,400	
	エポキシ樹脂シール材			kg	2,600	
ひび割れ充填材	シーラント系			kg	4,530	相当品を使用

※当該規格の場合には、シーラント系の相当品（樹脂系）を使用する。

# ( Ⅱ ) — 4 砂 防

( 砂 防 課 )

# 1. 地すべり対策事業単価

( 砂 防 課 )

# 平成26年度 地すべり観測機器単価表(H26.10.1)

単位:円

計器名称		単価	単位	規格
歪測定	パイプ歪計	3,300	本	1方向2ゲージ L=1.0m ソケットレス仕様 外径48mm
	パイプ歪計	3,800	本	1方向2ゲージ L=1.0m ソケットレス仕様 外径48mm ストレーナー加工 フィルター材巻
	パイプ歪計	4,450	本	2方向4ゲージ L=1.0m ソケットレス仕様 外径48mm
	パイプ歪計	4,950	本	2方向4ゲージ L=1.0m ソケットレス仕様 外径48mm ストレーナー加工 フィルター材巻
	リード線	65	m	1方向2ゲージ用
	リード線	110	m	2方向4ゲージ用
地下水検層	地下水検層器 (ピックアップ)	300,000	基	75点 31.5m バック付
	地下水検層器 (ピックアップ)	390,000	基	75点 49.5m バック付
	比抵抗測定器	300,000	基	地下水検層用指示計
水位計	自記水位計	200,000	基	ワイヤー、フロート、おもり付 記録期間:7日間以上 最小記録目盛10mm以下
	携帯用水位計	49,500	基	触針式 50m用 ブザー、ランプ付
	ワイヤー	300	m	自記水位計用 3mm
	フロート	15,000	個	自記水位計用 φ32mm
	記録紙	54	枚	自記水位計用
	格納箱	20,000	個	自記水位計用

# 簡易動的コーン貫入試験機

## 機械器具損料

機械器具種別	機械器具細目	形状・規格等	基礎価格	損料率
簡易動的コーン貫入試験機	ガイドポール・重錘・ガイドロッド・ノッキングヘッド	重錘:5kg ガイドロッド:φ16SUS304製 ノッキングヘッド:SUS304 パイプ・スパナ	170,000	0.5009%

## 消耗材料費

消耗材料種別	消耗材料細目	形状・規格等	単位	数量	価格	摘要
貫入試験 消耗材料	先端コーン	φ25mm	個	1.00	8,500	
	貫入ロッド	φ16mm L=500mm	本	1.00	8,500	

# ( II ) — 5 港 灣

( 港 灣 課 )



# 1. 船員単価

## (1) 船員単価

職 種	単 価	備 考	職 種	単 価	備 考
船団長 基本単価	25,100		潜水世話役 基本単価	31,200	
〃 (回航用) 2交替制	34,500	就業11h	潜水土 基本単価	31,200	
高級船員 基本単価	25,100				
〃 (回航用) 2交替制	34,500	就業11h			
普通船員 基本単価	18,800				
〃 (回航用) 2交替制	26,500	就業11h			

# 2. 資材単価及び調査価格

## (1) i) 資材単価

品 目	規 格	単 位	単 価	備 考
防砂布	ポリエステル不織布、引張強度(縦・横)90kgf/5cm以上	m <sup>2</sup>	1,380	幅広加工費込み

## ii) 仮設材損料

簡易型スチールフォーム	コンクリート舗装用 H=20~25cm L=3.0m	3m日	77	
	コンクリート舗装用 H=28~30cm L=3.0m	3m日	87	

## iii) バケツ損料

品 目	規 格	単 位	単 価	備 考
バケツ損料	1.5m <sup>3</sup>	個	2,290	
	3.0m <sup>3</sup>	個	3,800	
	5.0m <sup>3</sup>	個	5,530	

## (2) けい船柱及びけい船環価格表

(単位：円) 司型

種類	けん引力	呼称	価 格 (基)	内 容 積	アンカボルト
曲 柱	5t	150φ	42,700	0.006	4
種類	材質	呼称	価 格 (基)		
けい船環	SUS304	25mmφ	24,000		

種類	けん引力	呼称	価 格 (基)	内 容 積	アンカボルト
直 柱	5t以上	150φ	22,500	0.007	埋込式

1月改定

- (注) 1 本材質はSC45とし、ボルトはSS400とする。  
 2 本価格はボルトナットおよび塗装を含む価格とする。  
 3 特殊な製品を使用する場合は見積り価格とする。

### (3) ゴム製コーナー保護材

(単位：円)

規 格	単 価
縦 横 厚さ 長さ 100mm × 100mm × 20mm (程度) × 1,000mm	26,000
縦 横 厚さ 長さ 100mm × 100mm × 30mm (程度) × 1,000mm	32,300
縦 横 厚さ 長さ 170mm × 170mm × 30mm (程度) × 1,000mm	45,700

### (4) 車止め

樹脂系コンクリート製

規 格	1本当り重量(kg/本)	単 位	単 価
車止め(150×150)	100kg以下	m	18,800
車止め(180×185)	100kg以下	m	見積り
車止め(200×200(205))	100kg以下	m	31,100
車止め(250×200(205))	100kg以上	m	40,800

(5) 底質調査価格

底生生物・プランクトン分析

(単位：円)

項 目	料 金
植物プランクトン	25,300
動物プランクトン	25,000
底生生物	24,300

1 測定・分析費は、諸経費を含んだ価格である。

(注) 2 採泥点は200m~300mメッシュを標準とし、河口部等の堆積汚泥の分布状況が変化しやすい場所は、必要に応じて地点を増加するものとする。(詳細は底質調査方法を参照)

3 採泥及び資料運搬は赤本を参考に積算する。なお諸経費については採泥及び資料運搬のみ計上すること。